

第6回 10月15日（木）

第6回の一流塾は、講師に村井勝氏（元コンパック㈱会長、元アントレプレナー・オブザイヤー・ジャパン審査委員長）、福井俊彦氏（前日本銀行総裁、キャノングローバル戦略研究所理事長）を、特別ゲストに安倍晋三氏（衆議院議員、元内閣総理大臣）をお迎えしました。

村井氏は『日米経営比較・グローバル経営のデファクトスタンダード・』と題し、IBM、コンパックを例として、垂直統合型企業と水平競業型企業の経営環境の変化への対応の相違や、日米企業のマネジメントの違いを述べられました。また、日本の企業は世界市場を視野に入れた戦略が十分ではない、もっと世界に眼を向けて経営すべきである、と激を飛ばされました。IT業界、ベンチャー企業への造詣が深い村井講師に対し、塾生からは「IT業界が世界市場において存在感を示すことが出来ないのは何故？」「ベンチャー企業成功の秘訣は？」等、活発な質疑が行われました。

福井氏は、『金融経済情勢の展望と企業経営』と題し、世界経済の変革と今後の見通しについて、大局的な視野から鋭い分析をご披露頂きました。また、国際経済における東側（アジア諸国）の比重が増しているため、今後は主体的・自律的な行動をとり、国際ルールの提案能力を向上すべきある。日本もソフトパワーを磨き、真の衡平性を冷静に追い求める社会へ進化すべきである、等の見解を述べられました。塾生からは、マクロの視点からの鋭い分析に大変感銘を受けた、日本の進むべき道のお話は参考になった、等のコメントがありました。

特別ゲストの安倍氏と一柳塾長は、同時期に大臣秘書官を務めて以来の旧知の仲で、多忙な中ご参加頂き、民主党政策の分析や、これからの日本の進むべき道等について卓話を頂きました。その後塾生との歓談・名刺交換・記念撮影に快く応じて頂き、一流塾の志向する、「本物と出会い、本物から学ぶ」を実践する絶好の機会に、塾生からは本物に直接触れて大変感激した、もう少しお話をお伺いしたかった、等の声が多くあげられました。